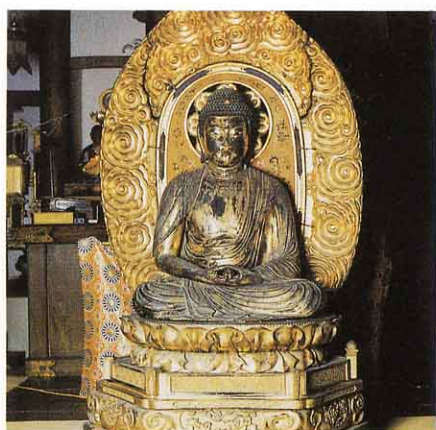




久川城あと

青柳地区と小塩地区にわたる南北560メートル、東西250メートルのおかの上にあります。古町のやかたに住んだ河原田^{かわらだ}氏が今から400年以上も前に、伊達^{だて}政宗^{まさむね}軍がおそってくるのにそなえてつくった城です。昭和60年に県指定^{しやうてい しやうせき}の史跡となりました。



木造阿弥陀如来座像

善導寺^{ぜんどうじ}の本尊^{ほんぞん}で全体が黒でぬられています。交通が不便な280年ほど前、どうやって京都から運ばれてきたのかなぞとされています。高さは約1メートルほどで、昭和33年に県の重要文化財に指定されました。



古町の祭り

毎年、9月9日に古町地区の人々^{うじこ}（氏子）がみこしをかついだり、ひっぱったりして村の中心である古町をねり歩きます。

300年以上の伝統があり、村の安全と豊作^{ほうさく}をいのりながら神^{かんしゃ}に感謝^{かんしゃ}をささげるものです。

重要無形文化財^{むけい}として昭和57年に村の指定になりました。